特別プログラム

※本号(()内)のページ数を掲載しております。

	プログラム	//抄録
代議員総会·会員総会·評議員会	·· P.25	_
学会賞(シミック賞)受賞講演	·· P.25	_
会 長 招 請 講 演	· P.26	P.107
会	P.26	P.108
特	·· P.27	P.109
日本エイズ学会シンポジウム	· P.29	P.112
日本性感染症学会と日本エイズ学会の合同シンポジウム	P.30	P.118
緊 急 シ ン ポ ジ ウ ム	·· P.31	P.125
シンポジウム「治療の手引き」	·· P.32	P.126
シ ン ポ ジ ウ ム	·· P.33	P.127
ワークショップ 看護	P.40	P.193
ポジティブトークセッション	· P.40	P.197
メモリアルサービス	·· P.41	P.198
ワ ー ル ド カ フ ェ	· P.41	P.199
日本エイズ学会認定講習会	P.42	P.200
HIV感染症薬物療法認定·専門薬剤師認定講習会 ····································	P.42	P.203
Scientific Engagement Satellite Symposia	P.43	P.204
共催シンポジウム	P.44	P.205
共 催 セ ミ ナ ー	P.45	P.208
ランチョンセミナー	P.46	P.211
イ ブ ニ ン グ セ ミ ナ ー	. P.53	P.224

代議員総会・会員総会・評議員会

■日時:12月3日(月)8:30~9:20

■会場: 第1会場(大阪国際会議場 10階 1003)

■議長:学術集会・総会会長

※代議員総会・会員総会・評議員会およびシミック賞・ECC 奨励賞の授賞式ならびに ECC 奨励賞 受賞者からのお言葉をいただきます。

※参加は学会員に限ります。

第15回日本エイズ学会学会賞(シミック賞)受賞講演

■日時:12月3日(月)9:20~9:50

■会場:第1会場(大阪国際会議場 10階 1003) ■座長:松下修三(熊本大学エイズ学研究センター)

会長招請講演

■日時:12月2日(日)13:00~13:50 ■会場:第1会場(大阪国際会議場 10階 1003)

会長招請講演

白阪琢磨(国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター/ 座長

公益財団法人エイズ予防財団)

■演者

HIV 感染症の治療: 過去、現在、そして未来 IL

満屋裕明

国立国際医療研究センター研究所 米国国立癌研究所·NIH 熊本大学医学部附属病院

会長講演

■日時:12月3日(月)13:50~14:30 ■会場: 第1会場(大阪国際会議場 10階 1003)

会長講演

座長 松下修三(熊本大学エイズ学研究センター)

■演者

ゼロを目指して - 今、できること PL

国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター/公益財団法人エイズ予防財団

特別講演

■日時:12月2日(日)11:00~11:50

■会場: 第1会場 (大阪国際会議場 10階 1003)

特別講演1

満屋裕明(国立研究開発法人 国立国際医療研究センター研究所)

座長 白阪琢磨(国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター/

公益財団法人エイズ予防財団)

■演者

SL1 Implications of Drug Resistance for Containing the HIV Pandemic

Robert W. Shafer

Division of Infectious Diseases Dept of Medicine, Stanford University, USA

■日時: 12月3日(月) 13:00 ~ 13:40 ■会場:第1会場(大阪国際会議場 10階 1003)

特別講演2

座長 佐藤裕徳(国立感染研究所病体ゲノム解析研究センター)

■演者

SL2 エイズ基礎研究の歴史と展望

塩田達雄

大阪大学微生物病研究所

特別講演

■日時:12月3日(月)13:00~13:40

■会場: 第7会場(大阪国際会議場 12階 特別会議場)

特別講演3

座長 岩室紳也(ヘルスプロモーション推進センター)

■演者

SL3 性的指向と性自認を視野に入れたエイズ予防教育の実現を

日高庸晴

宝塚大学 看護学部

日本エイズ学会シンポジウム

■日時:12月4日(火)10:10~11:50

■会場: 第7会場(大阪国際会議場 12階 特別会議場)

日本エイズ学会 シンポジウム エイズ予防指針改定の背景と課題 (エイズ予防指針に基づく

座長 松下修三(熊本大学エイズ学研究センター) 市川誠一(人間環境大学大学院看護学研究科)

対策の推進のための研究)

■演者

AS-1 エイズ予防指針改定の背景と課題イントロダクション

松下修三

熊本大学エイズ学研究センター

AS-2 予防指針の課題抽出・基礎分野の課題

椎野植--郎

国立感染症研究所感染症疫学センター

AS-3 社会分野における予防指針の課題

塩野徳史

大阪青山大学健康科学部 看護学科

AS-4 エイズ予防指針から考える HIV 受検勧奨

今村顕史

がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

AS-5 臨床分野における予防指針の課題

塚田訓久

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

日本性感染症学会と日本エイズ学会の合同シンポジウム

■日時:12月2日(日)16:10~18:10

■会場: 第7会場(大阪国際会議場 12階 特別会議場)

日本性感染症学会 と日本エイズ学会の 合同シンポジウム

増え続ける梅毒など身近な 性感染症の現状と課題

座長

吉田正樹(東京慈恵会医科大学付属病院 感染制御部/感染制御科)

上平朝子(国立病院機構大阪医療センター 感染症内科)

■演者

JS-1 感染症発生動向調査における性感染症の概要と届出改善へ向けた取り組み(HIV を中心に)

砂川富正

国立感染症研究所 感染症疫学センター

JS-2 HIV 感染症の最新治療

上平朝子

国立病院機構大阪医療センター 感染症内科

JS-3 尿道炎原因菌の現状と課題

安田満

岐阜大学医学部附属病院 生体支援センター

JS-4 肝炎の動向

四柳宏

東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野

JS-5 梅毒の国内の現状

大西 真

国立感染症研究所

JS-6 梅毒の治療

石地尚興

東京慈恵会医科大学 皮膚科

共催:一般社団法人 日本エイズ学会 / 一般社団法人 日本性感染症学会

緊急シンポジウム

■日時:12月4日(火)11:00~11:50

■会場: 第1会場(大阪国際会議場 10階 1003)

緊急シンポジウム

A型肝炎のアウトブレイクと 対策

座長

三田英治(国立病院機構大阪医療センター

消化器内科)

四柳 宏(東京大学医科学研究所

先端医療研究センター 感染症分野)

■演者

SYO-1 基調発言と現在の状況の紹介

四柳 宏

東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野

SY0-2 東京都における現状1

田中勝

がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

SYO-3 東京都における現状2 - HIV 感染者における A 型肝炎の当院での発生状況 -

萩原 剛

東京医科大学 臨床検査医学分野

SYO-4 大阪における現状

田中聡司

国立病院機構大阪医療センター 消化器内科

SY0-5 九州における現状

高濱宗一郎

国立病院機構九州医療センター 免疫感染症内科

SY0-6 今後の対策

今村顕史

都立駒込病院 感染症科

シンポジウム「治療の手引き」

■日時: 12月4日(火) 13:00 ~ 14:50 ■会場:第1会場(大阪国際会議場 10階 1003)

満屋裕明(国立研究開発法人

国立国際医療研究センター研究所)

岡 慎一(国立研究開発法人

HIV感染症:治療の手引き 座長

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

白阪琢磨(国立病院機構大阪医療センター

HIV/AIDS 先端医療開発センター/ 公益財団法人エイズ予防財団)

1 はじめに

治療の手引き

満屋裕明

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター研究所

2 What's New

白阪琢磨

国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター 公益財団法人エイズ予防財団

3 新しい 2 剤療法への期待と課題

立川夏夫

横浜市立市民病院 感染症内科

4 HIV 感染症と喫煙: タバコは始めない・吸わない・吸わせない

満屋裕明

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター研究所

5-1 HIV ワクチン

俣野哲朗

国立感染症研究所 エイズ研究センター

5-2 **HAV** ワクチン

宮川寿一

熊本大学医学部附属病院 血液·膠原病·感染症内科

5-3 HBV ワクチン

四柳 宏

東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野

5-4 HPV 関連中咽頭癌の診断と治療ワクチン

水島大輔

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院

6 まとめ

岡慎一

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

★なお本セッションは日本エイズ学会の医師認定制度ならびに日本エイズ学会認定 HIV 感染症看護師・HIV 感染症指導 看護師制度における学会教育研修プログラムです。

■日時:12月2日(日)9:00~10:50

■会場: 第1会場(大阪国際会議場 10階 1003)

シンポジウム 1

新しい枠組みの抗HIV療法

座長

鯉渕智彦 (東京大学医科学研究所附属病院

感染免疫内科)

四本美保子(東京医科大学病院 臨床検査医学科)

第 I 部: Key Note Lecture `The Long-acting ART`

■演者

SY1-1 Long-Acting Antiretroviral Therapy: Is it Time to Give it a Shot?

Charles W. Flexner

Infectious Diseases and Clinical Pharmacology, Johns Hopkins University, USA

第Ⅱ部:シンポジウム 2剤併用療法

■演者

SY1-2 2 剤併用療法概論

鯉渕智彦

東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科

SY1-4 薬剤師の立場から(2剤併用療法について)

増田純一

国立国際医療研究センター病院 薬剤部

SY1-3 2 剤併用療法の経験

横幕能行

国立病院機構名古屋医療センター

SY1-5 2 剤併用療法の問題点・解決すべき課題

立川夏夫

横浜市立市民病院 感染症内科

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

■日時:12月2日(日)9:00~10:50

■会場: 第5会場(大阪国際会議場 10階 1009)

シンポジウム 2 インターフェロンのインパクト 座長 中山英美(大阪大学微生物病研究所

ウイルス感染制御分野)

佐藤 佳(東京大学医科学研究所 感染症国際研究

センター システムウイルス学分野)

■演者

SY2-1 インターフェロンの効果と

抗ウイルス宿主因子の活性化

徳永研三

国立感染症研究所 感染病理部

SY2-3 自然免疫による HIV 感染認識における

キャプシドの役割

山下満左裕

Aaron Diamond AIDS Research Center

SY2-2 MALT1 による N4BP1 の分解は

潜伏感染 HIV-1 の再活性化を促進する

山岨大智

京都大学ウイルス・再生医科学研究所 感染防御分野

SY2-4 HIV-1 カプシドによる

I 型インターフェロン感受性の制御

齊藤 暁

大阪大学微生物病研究所

■日時:12月2日(日)9:00~10:50

■会場: 第7会場(大阪国際会議場 12階 特別会議場)

シンポジウム3

関西圏におけるHIV/AIDS・薬 物依存のセーフティーネットの

現状一足りていないからこそで

きるケアー

座長 白野倫徳 (大阪市立総合医療センター 感染症内科)

SALON DE BAZAAR の実践を通して

■演者

SY3-1 HIV陽性者の精神科病院受け入れの

現状と課題

角谷慶子

長岡記念財団長岡ヘルスケアセンター(長岡病院)

仲倉ミーティングから SY3-2

セーフティーネットを考える

仲倉高広

京都橘大学健康科学部 心理学科

グループミーティング "SPICA" から SY3-3

青木理恵子

特定非営利活動法人 CHARM

バザールカフェ、安東医院

思考する

松浦千恵

当事者

SY3-4

SY3-5

■日時:12月2日(日)15:40~17:30 ■会場: 第1会場(大阪国際会議場 10階 1003)

シンポジウム 4 HIV感染症とAging (基礎)

座長

滝口雅文 (熊本大学 エイズ学研究センター

滝口プロジェクト研究室)

塩田達雄(大阪大学微生物病研究所

ウイルス感染制御分野)

■演者

SY4-1 Immune aging in HIV infection

Victor Appay

Immunity and Infectious Disease Research Center,

INSERM, France

SY4-2 HIV 感染と細胞老化

南留美

国立病院機構九州医療センター 免疫感染症内科

SY4-3 乳酸菌による自然免疫活性化を通じた

老化形質制御の可能性

藤原大介

キリン株式会社 事業創造部

SY4-4 免疫ゲノム解析を用いた がん免疫応答の本態解明

西川博嘉

名古屋大学大学院医学系研究科 微生物 · 免疫学講座

分子細的免疫学

国立がん研究センター 研究所 腫瘍免疫研究分野/

先端医療開発センター 免疫 TR 分野

共催:キリンホールディングス(株)

■日時: 12月2日(日) 15:40 ~ 17:00 ■会場:第5会場(大阪国際会議場 10階 1009)

シンポジウム 5

これからHIV診療に取り組む

方々へ

座長 澤田暁宏(兵庫医科大学 血液内科)

下司有加(国立病院機構神戸医療センター)

■演者

SY5-1 HIV 感染症の現状とこれからの課題

鯉渕智彦

東京大学医科学研究所附属病院

SY5-2 「これから HIV 診療に取り組む方々へ」

看護師の立場から

大野稔子

北海道大学病院 看護部

SY5-3 薬剤師の立場から:

(アドヒアランス向上のために)

矢倉裕輝

国立病院機構大阪医療センター 薬剤部

SY5-4 これから HIV 診療に取り組む医療ソー

シャルワーカーの方へ

~権利擁護の実践の場へようこそ~

岡本 学

国立病院機構大阪医療センター 医療福祉相談室

■日時: 12月3日(月) 10:00~11:50■会場:第1会場(大阪国際会議場 10階 1003)

シンポジウム 6

「抗HIV薬の薬物動態、薬剤間相互作用と薬剤耐性」 ~PK/PD/PGのアプローチからウイルス学的失敗ゼロを目指す~

座長 吉野宗宏(国立病院機構 宇多野病院)

古西 満 (奈良県立医科大学 健康管理センター)

■演者

SY6-1 薬剤耐性 HIV の臨床経験と

抗 HIV 薬の薬物動態

渡邊大

国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター

エイズ先端医療研究部

SY6-2 血中濃度測定およびその評価について

矢倉裕輝

国立病院機構大阪医療センター 薬剤部

SY6-3 臨床において留意すべき 薬剤間相互作用とその評価ツール

日笠真一

兵庫医科大学病院 薬剤部

共催:鳥居薬品(株)/日本たばこ産業(株)

■日時:12月3日(月)10:00~11:50 ■会場: 第5会場 (大阪国際会議場 10階 1009)

シンポジウム フ

HIV医療はどのように生まれ、 どこに向かおうとしているか ~薬害エイズがもたらしたこと と、今後求められるもの~

花井十伍(特定非営利活動法人 座長 ネットワーク医療と人権)

横田恵子(神戸女学院大学 文学部 総合文化学科)

■演者

SY7-1 「患者主体の医療」の系譜と HIV 医療

東北大学大学院医学系研究科

SY7-3 HIV 感染による孤立から支え合いへ: カウンセラーからみた来し方行く末

> 内野悌司 広島修道大学

薬害エイズがもたらした SY7-2 HIV 医療の移り変わり

特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権 大阪 HIV 薬害訴訟原告団

スティグマはお邪魔 SY7-4

高田 昇

中国電力株式会社中電病院

■日時:12月3日(月)10:00~11:20

■会場: 第7会場(大阪国際会議場 12階 特別会議場)

シンポジウム 8 HIV cure & reservoir

佐藤賢文(熊本大学 エイズ学研究センター) 座長

明里宏文(京都大学 霊長類研究所)

■演者

SY8-1 HIV 治癒へのオミクス解析

小柳義夫

京都大学ウイルス: 再生医科学研究所

SY8-3 Strategies Toward an HIV Cure

Ole Schmeltz Søgaard

Aarhus University Hospital, Denmark

HIV 感染霊長類モデルによる HIV 根治 SY8-2

研究

明里宏文

京都大学 霊長類研究所

京都大学ウイルス・再生医科学研究所

■日時:12月3日(月)16:30~18:20 ■会場:第3会場(大阪国際会議場 10階 1002)

シンポジウム 9

U=U (Undetectable=

Untransmittable) 誰が何を どう伝えるか:陽性者の人権と

スティグマゼロへの取り組みを

視野に入れて

岡本 学(国立病院機構大阪医療センター

医療相談室)

大北全俊(東北大学大学院 医学系研究科)

■演者

SY9-1 U = U, beyond the evidence

(エビデンスを越えて)

山口正純 武南病院

SY9-3

座長

U=U をめぐるメッセージと予防啓発

塩野徳史

大阪青山大学健康科学部 看護学科、MASH 大阪

SY9-2 U=U という科学的知見を、

私たちはエイズ対策に活かしているか?

NPO 法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス

SY9-4 何をどう伝えるか 看護師の立場から

> 渡部恵子 北海道大学病院

■日時: 12月3日(月) 16:30~ 18:20

■会場: 第7会場(大阪国際会議場 12階 特別会議場)

シンポジウム 10

HIVワクチン開発の過去、現在、

未来

座長

侯野哲朗(国立感染症研究所 エイズ研究センター)

山本拓也(国立研究開発法人 医薬基盤 · 健康 ·

栄養研究所 免疫老化プロジェクト)

■演者

SY10-1 RV144: A summary of a decade of

learning

Jerome H. Kim

International Vaccine Institute, Korea

SY10-3 HIV 複製抑制に効果的な T 細胞応答の 選択的誘導を目的とした新規ワクチン

抗原設計戦略

石井 洋

国立感染症研究所エイズ研究センター

SY10-2 アカゲザルを用いた HIV-1 ワクチン評価

のための R5-tropic SHIV の開発

新開大史

北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター 生物製剤研

究開発室

SY10-4 ナイーブ T 細胞からの高機能を有する HIV-1 特異的 CD8 陽性 T 細胞の誘導

久世 望

熊本大学エイズ学研究センター

座長

■日時:12月4日(火)9:00~10:50

■会場: 第1会場(大阪国際会議場 10階 1003)

シンポジウム 11

C型肝炎 "制圧(ゼロ)"、 B型肝炎 "制御(ゼロ)"に

むけた取り組み

四柳 宏(東京大学医科学研究所

先端医療研究センター 感染症分野)

三田英治(国立病院機構 大阪医療センター

消化器内科)

■演者

SY11-1 HIV/HCV 感染の疫学

一新規感染・再感染の状況も含めて一 塚田訓久

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

SY11-2 HIV/HCV 共感染の経過と治療

ー MSM 症例を中心にー

菊地 正

国立感染症研究所 エイズ研究センター

SY11-3 HIV 合併血友病患者の C 型肝炎治療の 変遷と現況

萩原 剛

東京医科大学 臨床検査医学分野

SY11-4 HIV/HBV 重複感染者に対する TDF/ TAF 含有 ART における HBs 抗原陰性 化因子の解析

田中聡司

国立病院機構大阪医療センター 消化器内科

SY11-5 HIV 感染者の occult HBV infection の検討

古庄憲浩

九州大学病院 総合診療科

SY11-6 血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者 に対する肝移植

江口 晋

長崎大学大学院 移植:消化器外科

■日時:12月4日(火)9:00~10:50

■会場: 第5会場(大阪国際会議場 10階 1009)

シンポジウム 12

ARTの現状: 基礎研究者への

発信

座長

塩田達雄(大阪大学微生物病研究所

ウイルス感染制御分野)

潟永博之(国立国際医療研究センター

エイズ治療・研究開発センター)

■演者

SY12-1 新規 HIV 逆転写酵素阻害剤の開発と次世 代 ART に向けた新しい治療法への応用

前田賢次

国立国際医療研究センター

SY12-3 薬剤耐性 HIV の現状と ART 標的酵素 外に存在する耐性変異の可能性について

蜂谷敦子

国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター

SY12-2 治療効果や副作用に関係する ヒトゲノム多型解析

土屋亮人

国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター

SY12-4 投与される抗 HIV 薬の選択と変更 湯永博之

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

■日時:12月4日(火)9:00~10:30

■会場: 第6会場(大阪国際会議場 12階 1202)

シンポジウム 13

広がりつつある検査の選択肢

岩橋恒太(特定非営利活動法人 akta) と、個別施策層の対策にどのよ 座長 岡本 学(独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター 医療相談室) うに対応するか

■演者

SY13-1 プレ検査概念の提案と個別施策層の 検査機会の拡充

今村顕史

がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

SY13-2 MSM を対象とする、郵送検査手法を 用いた新たな HIV 検査機会としての 「HIVcheck.jp」の取り組み

岩橋恒太

特定非営利活動法人 akta

SY13-3 性風俗店における郵送検査の問題 要友紀子

SWASH

SY13-4 職域における検査の可能性

国立病院機構名古屋医療センター

ヴィーブヘルスケア医学教育事業助成

ワークショップ 看護

■日時: 12月2日(日) 14:00 ~ 14:50 ■会場:第2会場(大阪国際会議場 10階 1001)

ワークショップ 看護

受診中断者を"ゼロ"にする 座長

宇野健司(南和広域医療企業団

南奈良総合医療センター 感染症内科/

関西 HIV 臨床カンファレンス)

安尾利彦(独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 臨床心理室)

■演者

WSN-1 受診中断を防ぐために看護師、

医療従事者としてできることとは何か。

鍵浦文子

広島大学医歯薬保健学研究科

WSN-3 心理士からみた HIV 陽性者の受診中断

の背景に関する検討

西川歩美

国立病院機構大阪医療センター 臨床心理室

WSN-2 受診・服薬継続管理アプリ「せるまね」 の活用が自己管理能力に与える影響

村上英子

広島大学病院 エイズ医療対策室 エイズ予防財団リサーチレジデント

ポジティブトークセッション

■日時: 12月2日(日) 14:00 ~ 15:30 ■会場:第5会場(大阪国際会議場 10階 1009)

ポジティブトーク セッション

POSITIVE TALK 2018

座長

高久陽介 (特定非営利活動法人日本HIV陽性者

ネットワーク・ジャンププラス)

尾辻かな子(衆議院議員)

■演者

HIV 陽性者 4 名

メモリアルサービス

■日時:12月4日(火)10:50~11:50

■会場: 第6会場(大阪国際会議場 12階 1202)

メモリアル サービス

第8回 世界エイズデー メモリアルサービス

~生命をつなぐ~

■企画者:**有志**

■内 容:

メモリアル・キルトのスライドショーや遺族の方からのメッセージ、陽性者からのメッセージ、HIV/AIDS 医療や支援 にかかわっている人たちからのメッセージ。

追悼や祈り、歌をささげる。candle vigils (ともしび)、瞑想など。

参加者のこころの声に各自が静かに耳を傾け、過去や現在を覚え、これからの私たちの勇気を分かち合う。

ワールドカフェ

■日時:12月4日(火) 15:00~16:00

■会場: 第5会場(大阪国際会議場 10階 1009)

ワールドカフェ 知ったらもっとやさしくなれる

■ファシリテーター

佐保美奈子

大阪府立大学大学院 看護学研究科

日本エイズ学会認定講習会

認定講習会一覧

日 時	時間	会 場	セッション名	テーマ
12月2日(日)	15:00-16:30	第2会場 (大阪国際会議場 10階 1001)	日本エイズ学会 認定講習会【看護師】	HIV陽性者の 生活習慣病支援
12月3日(月)	16:30-18:20	第1会場 (大阪国際会議場10階1003)	日本エイズ学会 認定講習会 【医師】	ウイルスによる 腫瘍性疾患の診断と治療
12月4日(火)	13:00-14:50	第1会場 (大阪国際会議場10階1003)	シンポジウム「治療の 手引き」【医師・看護師】	HIV感染症:治療の手引き

HIV 感染症指導看護師向けアドバンスト研修

日時	時間	会 場	セッション名	テーマ
12月2日(日)	16:40-18:00	第2会場 (大阪国際会議場 10階 1001)	HIV感染症指導看護師 向けアドバンスト研修	HIV感染症指導看護師に 求められる役割と実践能力

HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師認定講習会

■日時: 12月3日(月) 16:30~ 18:20 ■会場:第5会場(大阪国際会議場 10階 1009)

> 長期療養における コミュニケーションの重要性

座長

治田匡平(奈良県立医科大学附属病院 薬剤部) 市田裕之(大阪市立総合医療センター 薬剤部)

■演者

TR1-1 日笠 聡

兵庫医科大学 血液内科

TR1-2 井門敬子

愛媛大学医学部附属病院 薬剤部

TR1-3 安尾利彦

国立病院機構大阪医療センター 臨床心理室

主催:一般社団法人 日本病院薬剤師会

Scientific Engagement Satellite Symposia

■日時:12月3日(月)10:00~11:50

■会場: 第6会場(大阪国際会議場 12階 1202)

Scientific Engagement Satellite Symposia HIV診療におけるHBV、HAV 感染予防の重要性と共感染の インパクト〜医療者、HIV陽性 者、HIV感染機会のある人々と の対話を通じて再考する〜

四柳 宏(東京大学医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野) 古賀一郎(ヴィーブヘルスケア株式会社 メディカル・アフェアーズ部門)

■演者

SESS-1 古庄憲浩

九州大学病院 総合診療科

SESS-2 横幕能行

国立病院機構名古屋医療センター エイズ治療開発センター

SESS-3 大島 岳

特定非営利法人 日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス

SESS-4 岩橋恒太

特定非営利活動法人 akta

共催:ヴィーブヘルスケア(株)

共催シンポジウム

■日時:12月2日(日)14:00~15:30 ■会場: 第1会場(大阪国際会議場 10階 1003)

共催シンポジウム1

HIV感染症とAging (臨床)

松下修三(熊本大学 エイズ学研究センター) ~重要性を増すメンタルヘルス 座長

岡 慎一(国立国際医療研究センター)

マネジメント~

■演者

SS1-1 HIV 診療におけるこれからの課題 ~高齢化とメンタルヘルス~

照屋勝治

国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター

SS1-2 HIV 感染における抑うつと不眠の評価と対応のコツ ~慢性炎症としての精神疾患~

国立病院機構北海道医療センター精神科・緩和ケア室・認知症診断センター

共催: MSD (株)

■日時:12月2日(日)16:15~18:15

■会場: 第3会場(大阪国際会議場 10階 1002)

薬剤師Workshop

共催シンポジウム 2 耐性ウイルス発現症例に対する 座長 冨島公介(国立病院機構大阪医療センター 薬剤部)

ARTレジメンの提案

■演者

SS2-1 大石裕樹

国立病院機構九州医療センター 薬剤部

共催:ヤンセンファーマ(株)

共催シンポジウム

■日時:12月2日(日)16:00~18:00■会場:第6会場(大阪国際会議場12階1202)

共催シンポジウム3

Genetic barrier と HIVの臨床

座長 満屋裕明(国立国際医療研究センター)

吉村和久(医療法人社団 広崎会 さくら病院 内科)

■演者・パネリスト

SS3-1 The impact of genetic barrier on therapy HIV/AIDS in the US and world HIV/AIDS の治療における "genetic barrier" のインパクト: 米国と世界

Robert W. Shafer

Division of Infectious Diseases Dept of Medicine, Stanford University, USA

SS3-2 Current status of drug resistance development in Japan 日本における近年の薬剤耐性発現状況

吉村和久

医療法人社団 広崎会 さくら病院 内科

SS3-3 High genetic barrier and characteristics of darunavir ダルナビルの高い "genetic barrier" とその特性 満屋裕明

国立国際医療研究センター

SS3-4 Drug resistance and clinical practice of HIV/AIDS treatment in Japan 日本における薬剤耐性と HIV/AIDS 治療の実際 湯永博之

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター 治療開発室・ACC 研究・開発科

Panel discussion パネルディスカッション

共催:ヤンセンファーマ(株)

共催セミナー

■日時: 12月3日(月) 18:30 ~ 19:40 ■会場:第2会場(大阪国際会議場 10階 1001)

共催セミナー

HIV/HCV重複感染者に対する

肝移植

座長 江口 晋(長崎大学大学院 移植·消化器外科)

■基調講演

HIV / HCV 重複感染肝疾患の克服へ向けて 〜患者と歩んできた厚生労働科学研究江口班への期待〜 秋野公造

参議院議員

■演者 1 血液製剤による HIV/HCV 重複感染者に対する肝移植:本邦の現状 高槻光寿

長崎大学大学院 移植:消化器外科

■演者 2 Different miRNA expression in transplanted livers of HCV mono-infected and HCV/HIV co-infected recipients

Riccardo Pravisani

ASUIUD, Department of Liver & Kidney Transplantation, Udine, Italy

共催: 厚生労働省エイズ対策研究事業『血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者の肝移植』研究班

■日時: 12月2日(日) 12:00 ~ 12:50 ■会場:第1会場(大阪国際会議場 10階 1003)

2剤治療の可能性

ランチョン セミナー 1 (同時通訳有り) NRTIがもたらした3剤治療の 足跡とdolutegravirが拓く

座長

古賀一郎(ヴィーブヘルスケア株式会社

メディカル・アフェアーズ部門)

■演者

LS1-1 Charles Hicks

ViiV Healthcare company, Senior Global Medical Director

共催:ヴィーブヘルスケア(株)/塩野義製薬(株)

■日時:12月2日(日)12:00~12:50■会場:第3会場(大阪国際会議場 10階 1002)

ランチョン セミナー2 血友病と血液由来感染症 -治療の進歩と今後の展望-

座長 福武勝幸 (東京医科大学 臨床検査医学分野)

■演者

LS2-1 鈴木隆史

荻窪病院 血液凝固科

共催:バイオベラティブ・ジャパン(株)

■日時:12月2日(日)12:00~12:50 ■会場: 第5会場(大阪国際会議場 10階 1009)

ランチョン セミナー3

全例治療時代を迎えた HIV感染症の合併症を考える

座長

四柳 宏(東京大学医科学研究所 先端医療研究

センター 感染症分野)

■演者

LS3-1 HIV/HBV 重複感染の ART 戦略

古庄憲浩

九州大学大学院 感染制御医学/九州大学病院 総合診療科

LS3-2 高齢者の ART 戦略

潟永博之

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

共催:鳥居薬品(株)/日本たばこ産業(株)

■日時:12月2日(日)12:00~12:50

■会場: 第7会場(大阪国際会議場 12階 特別会議場)

ランナョン セミナー 4 ンチョン (同時通訳有り) The Global Challenge of "Getting to Zero HIV Infections": Can Japan be first to zero?

Shinichi Oka

座長 (AIDS Clinical Center, National Center for

Global Health and Medicine)

■演者

LS4-1 Joel Gallant

HIV Medical Affairs, Gilead Sciences

共催:ギリアド・サイエンシズ(株)

■日時: 12月3日(月) 12:00~ 12:50■会場:第2会場(大阪国際会議場 10階 1001)

ランチョン セミナー 5 HIVとの重複感染について:

梅毒とB型肝炎

座長

山本政弘(国立病院機構 九州医療センター

AIDS/HIV 総合治療センター)

■演者

LS5-1 梅毒と HIV の重複感染について

水島大輔

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

LS5-2 HBV と HIV の重複感染について

古庄憲浩

九州大学病院 総合診療科

共催: ロシュ・ダイアグノスティックス (株)

■日時:12月3日(月)12:00~12:50■会場:第3会場(大阪国際会議場 10階 1002)

ランチョン セミナー 6 (同時通訳有り) 専門医の視点、HIV感染症患者の視点で見る臨床試験の解釈 ~2剤治療臨床試験の展望を

座長

古賀一郎(ヴィーブヘルスケア株式会社 メディカル・アフェアーズ部門)

読み解く~

■演者

LS6-1 Benjamin Young

ViiV Healthcare Company, Senior Global Medical Director

共催:ヴィーブヘルスケア(株)/塩野義製薬(株)

■日時: 12月3日(月) 12:00 ~ 12:50 ■会場: 第4会場(大阪国際会議場 10階 1008)

ランチョン セミナーフ 血友病とHIV -40年間の関係-

座長 西田恭治 (大阪医療センター 感染症内科)

■演者

LS7-1 日笠 聡

兵庫医科大学 血液内科

共催: ノボ ノルディスク ファーマ (株)

■日時:12月3日(月)12:00~12:50■会場:第5会場(大阪国際会議場 10階 1009)

ランチョン セミナー8 ライフスタイルに合わせた

HIV治療とは?

座長 松下修三

(熊本大学エイズ学研究センター)

■演者

LS8-1 生活習慣病のリスクとマネジメント

南留美

国立病院機構九州医療センター 免疫感染症内科

LS8-2 多様な患者背景と抗 HIV 療法

潟永博之

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

共催: MSD (株)

■日時:12月3日(月)12:00~12:50

■会場: 第7会場(大阪国際会議場 12階 特別会議場)

ランチョン セミナー 9 服アド手帖にみるARTと 服薬支援のいま・むかし

座長

今村顕史(がん・感染症センター都立駒込病院

感染症科)

■演者

一般社団法人日本病院薬剤師会

LS9-2 矢倉裕輝

国立病院機構大阪医療センター 薬剤部

共催:鳥居薬品(株)/日本たばこ産業(株)

■日時: 12月4日(火) 12:00 ~ 12:50

■会場: 第3会場(大阪国際会議場 10階 1002)

ランチョン セミナー 10 HIV感染の歴史から学ぶ 世界の血液製剤供給

座長

西田恭治(独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科)

■演者

LS10-1 西田恭治

独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科

LS10-2 河原和夫

東京医科歯科大学大学院 医歯薬学総合研究科 政策科学分野

共催: CSL ベーリング (株)

■日時:12月4日(火)12:00~12:50 ■会場: 第5会場(大阪国際会議場 10階 1009)

ランチョン セミナー 11

新規HIV感染ゼロを目指して

満屋裕明(国立国際医療研究センター 研究所)

座長 岡 慎一(国立国際医療研究センター エイズ治療・

研究開発センター)

■演者

LS11-1 エイズ予防指針改定のポイント

横幕能行

国立病院機構名古屋医療センター 感染症内科

LS11-2 臨床医として効果的な HIV 感染拡大抑制を考える

井戸田一朗 しらかば診療所

共催:鳥居薬品(株)/日本たばこ産業(株)

■日時:12月4日(火)12:00~12:50 ■会場: 第6会場(大阪国際会議場 12階 1202)

ランチョン セミナー 12

インフルエンザに関する

Up-to-date

今村 顕史(がん・感染症センター都立駒込病院 座長

感染症科)

■演者

LS12-1 照屋勝治

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

共催: 塩野義製薬(株)

■日時:12月4日(火)12:00~12:50

■会場: 第7会場(大阪国際会議場 12階 特別会議場)

ランチョン セミナー 13 HIV治療戦略における induction maintenance phaseでのSTRの重要性と maintenance phase での RPV製剤の可能性

座長 松下修三(熊本大学 エイズ学研究センター)

■演者

LS13-1 立川夏夫

横浜市立市民病院 感染症内科

共催:ヤンセンファーマ(株)

イブニングセミナー

■日時:12月3日(月)18:30~19:20

■会場: 第5会場(大阪国際会議場 10階 1009)

イブニング セミナー 1 血友病診療の現状と薬剤師が 果たすべき役割

座長

西田恭治(国立病院機構 大阪医療センター

感染症内科)

■演者

ES1-1 天野景裕

東京医科大学 臨床検査医学分野

ES1-2 矢倉裕輝

国立病院機構 大阪医療センター 薬剤部

共催:シャイアー・ジャパン(株)

■日時:12月3日(月)18:30~19:20

■会場: 第7会場(大阪国際会議場 12階 特別会議場)

イブニングセミナー?

HIV陽性者の地域包括的ケア 構築に向けた取り組み 〜HIV陽性者の在宅療養を支 えるチカラ〜

座長

首藤美奈子(国立病院機構九州医療センター

AIDS/HIV 総合治療センター)

■演者

ES2-1 榮木教子

なないろ訪問看護ステーション

ES2-2 新野 歩

訪問看護ステーションラポールほのぼの

ES2-3 中山淳司

セコム医療システム株式会社 セコム薬局新大阪

共催: セコム医療システム (株)